

深志高野球部OBがCF 新マイクロバスを寄贈



安藤OB会長(左)からマイクロバスの
ゴールデンキーを受け取る清水監督

スガ部の活動に少しでも役立てば」とあいさつした。

安全と必勝祈願の神事も行われた。大きなゴールデンキーを受け取った野球部の清水雄一監督は「夢と希望を乗せて行きたい」と甲子園を目指す思いを述べ、福山晃大主将は「大切にに使わせていただきます」と感謝した。

OB8人がプロジェクトチームをつくり、ユニホームやボールなどの返礼品を用意して寄付を募ったところ、OB252人と一般93人から支援があった。保護者会の積立金なども合わせ、目標とした1000万円をほぼ達成し、マイクロバスを購入した。

記念したプロジェクトで寄付を募って購入した車両で、現役部員たちは伝統のありがたみを実感し、活躍を誓った。

止められ、現役部員や保護者会、OB会員らに参加して贈呈式が行われた。安藤善二OB会長は寄付者への感謝を述べ、「1896

松本深志高校(松本市)の野球部に11月30日、OB会から新しい

マイクロバスが寄贈された。2年後に迎える部の創立130周年を

昇降口前に校名やエンプレムの入った25人乗りのマイクロバスがたのはすごいこと。バ